

2020年11月10日

高尾小仏植樹活動 育樹・補植作業

(株)研進 出縄貴史

掲題作業を「いのちの森づくり」プロジェクトにおける「どんぐりブラザーズ」(福祉施設による森づくりチーム)の日中活動として、下記の通り実施しました。

記

1. 日時:2020年11月10日(火)
①10:00~12:00(2.00時間) ②10:30~12:30(2.00時間) ③10:00~12:30(2.50時間)
④10:00~12:30/15:00~16:00(3.50時間)
2. 場所:高尾小仏植樹地(東京都八王子市裏高尾町)
3. 参加者:NPO あるがハッピーフルーツ7名⇒作業時間①、(社福)県央福祉会パステルファームワーキングセンター10名⇒同②、(株)研進2名⇒同③/1名⇒同④、合計20名
4. 作業内容:(1)2017年&2018年植樹地の補植 10種類160本
シラカシ、タブノキ各30本、アカガシ、ウラジロガシ各20本、クヌギ、ネズミモチ各15本、アラカシ、コナラ各10本、シロダモ7本、イロハモミジ3本、合計160本

(2)2019年植樹地及び本年9/27植樹地の修復 ⇒ 獣害(イノシシ、鹿と推測)により荒らされた箇所の手直し。倒された苗木の再植付及びマルチング材(稲わら)の手当て。

(3)2019年植樹地の育樹(除草)



左:直前にポット苗を水に浸す。植樹後の注水は行わないので、事前にたっぷりと水を与える。

10:00 集合の「あるが」と研進メンバーにて、補植用の苗木を準備する。

上:進和学園で栽培した苗木 6種類 100本を車から荷卸し。

右:補植作業の前に集合写真
コロナ感染対策としてマスクを着用。





10:30 県央福祉会の皆さん到着。
同施設に栽培をお願いしている苗木より4種類60本を追加して利用。
荷卸し後、ポット苗を水に浸ける。



「あるが」の皆さんは、2018年植樹地の急斜面で補植を実施。主に獣害により苗木の生長が阻害された場所を見つけて苗木を植える。



本年9/27 植樹地の保全作業。
マルチング材(稲わら)の手直し。



県央福祉会の皆さんは、2017年植樹地の緩斜面における補植を担当。



以上